

記者発表（資料配布）				
月 日	担当課 (班名)	TEL	発表者 (担当主幹名)	その他 発表先
1/7 (月)	体育保健課 (保健安全・食育班)	(内線) 5780 078-362-3789	課長 升川 清則 (主幹 田村 純一)	

平成 30 年度公立小・中学校における体育大会（運動会）での組体操事故等調査まとめ

標記の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

- 1 調査実施期間 平成 30 年 10 月 29 日～11 月 30 日
- 2 対 象 県内公立小・中学校 <神戸市除く>
(平成 30 年度実施の体育大会(運動会)当日及び練習期間)
- 3 調 査 結 果 別紙のとおり
- 4 概 要 ピラミッド・タワーの重傷事故は、ピラミッドは小学校 0 件、
中学校 1 件（5 段）、タワーは小学校 1 件（2 段）、中学校 2 件
（3 段 2 件）の計 4 件（昨年比 7 件減）と減少した。
また、サボテン等の少人数で行う種目の重傷事故も小学校 4
件、中学校 7 件の計 11 件（昨年比 22 件減）と減少した。
※重傷事故とは 30 日以上に加療が必要なケガ
- 5 今後の取組 組体操の重傷事故の根絶を図るために「組体操での事故防止
に向けた指導上の留意点(平成 28 年 3 月 29 日付通知)」に加え、
下記の点を通知（平成 31 年 1 月 7 日付け）し、適切に実施され
るよう周知徹底していく。
①市町組合教育委員会においては、実施計画書を確認し、安全
に実施できる内容となっているか十分に点検し、実施計画の
未作成など指導体制が整わない場合は中止させるなど、指導
を徹底。
②各学校は実施のねらいを十分に踏まえた上で、計画段階で十
分に検討し、校長の責任の下で組織的な指導体制を構築し、
児童生徒等の安全確保を最優先で実施。
③組体操の内容については、児童生徒の実態を明確に把握した
うえで、適切に実施。
④ピラミッド、タワーについては、独立行政法人日本スポーツ
振興センターが発行している「体育的行事における事故防止
事例集」の内容に留意して実施。

平成30年度公立小・中学校における体育大会（運動会）での組体操事故等調査まとめ

1 平成30年度の実施状況

※()内はH29調査

区分	小学校		中学校		合計	
学校数	586校	(588校)	260校	(260校)	846校	(848校)
実施校数	493校	(509校)	142校	(147校)	635校	(656校)
実施率	84.1%	(86.6%)	54.6%	(56.5%)	75.1%	(77.4%)

2 ピラミッド・タワーの実施状況（段数は各学校で演技する最高段数である）

小学校	実施校数	ピラミッド				タワー							
		実施校数	事故件数	重傷件数<内数>		実施校数	事故件数	重傷件数<内数>					
実施 段数	2段	12校	(16校)	0件	(1件)	0件	(1件)	66校	(62校)	3件	(1件)	1件	(1件)
	3段	282校	(266校)	11件	(11件)	0件	(1件)	174校	(208校)	7件	(13件)	0件	(0件)
	4段	50校	(62校)	4件	(3件)	0件	(0件)	112校	(103校)	9件	(6件)	0件	(1件)
	5段	51校	(49校)	3件	(3件)	0件	(0件)	9校	(18校)	0件	(1件)	0件	(0件)
	6段	25校	(40校)	3件	(2件)	0件	(1件)						
	7段	12校	(9校)	0件	(0件)	0件	(0件)						
	8段	0校	(0校)	0件	(0件)	0件	(0件)						
合計	432校	(442校)	21件	(20件)	0件	(3件)	361校	(391校)	19件	(21件)	1件	(2件)	
平均段数	3.61段	(3.68段)					3.18段	(3.20段)					
H29段数比較	同じ	321校	下げた	98校	上げた	74校	同じ	331校	下げた	107校	上げた	55校	

中学校	実施校数	ピラミッド				タワー							
		実施校数	事故件数	重傷件数<内数>		実施校数	事故件数	重傷件数<内数>					
実施 段数	2段	1校	(0校)	0件	(0件)	0件	(0件)	13校	(13校)	4件	(6件)	0件	(2件)
	3段	16校	(15校)	1件	(0件)	0件	(0件)	51校	(46校)	13件	(13件)	2件	(2件)
	4段	12校	(10校)	1件	(2件)	0件	(1件)	14校	(22校)	0件	(7件)	0件	(0件)
	5段	40校	(49校)	14件	(33件)	1件	(1件)	25校	(30校)	7件	(8件)	0件	(0件)
	6段	23校	(13校)	6件	(1件)	0件	(0件)						
	7段	28校	(36校)	3件	(5件)	0件	(0件)						
	8段	7校	(12校)	8件	(9件)	0件	(0件)						
	9段	1校	(0校)	0件	(0件)	0件	(0件)						
	10段	0校	(0校)	0件	(0件)	0件	(0件)						
合計	128校	(135校)	33件	(50件)	1件	(2件)	103校	(111校)	24件	(34件)	2件	(4件)	
平均段数	5.45段	(5.60段)					3.50段	(3.62段)					
H29段数比較	同じ	96校	下げた	31校	上げた	15校	同じ	102校	下げた	28校	上げた	12校	

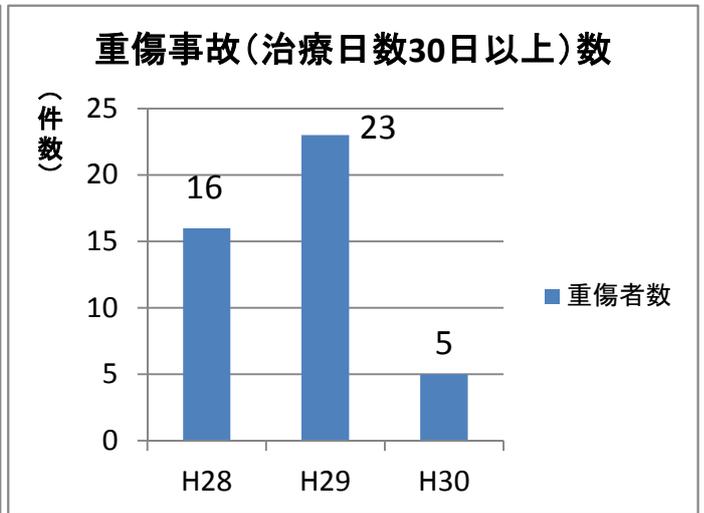
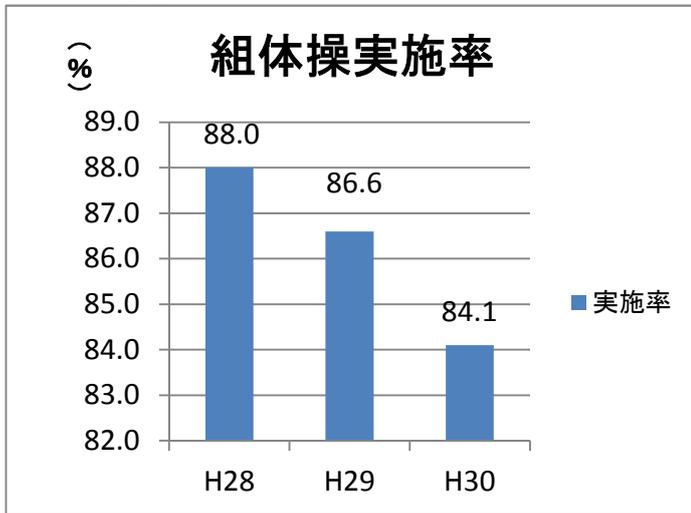
3 種目別事故発生件数及び重傷件数

区分	小学校				中学校				
	事故件数		重傷件数<内数>		事故件数		重傷件数<内数>		
種目	ピラミッド	21	(20)	0	(3)	33	(50)	1	(2)
	タワー	19	(21)	1	(2)	24	(34)	2	(4)
	補助倒立	35	(41)	0	(4)	3	(8)	0	(0)
	電柱	3	(3)	0	(0)	10	(23)	3	(4)
	サボテン	33	(31)	3	(1)	6	(19)	0	(1)
	飛行機	2	(4)	0	(0)	5	(6)	1	(3)
	人間起し	6	(11)	0	(0)	2	(7)	0	(2)
	その他	50	(93)	1	(13)	33	(51)	4	(7)
	合計	169	(224)	5	(23)	116	(198)	11	(23)

4 重傷事故内容

	種目	演技人数	演技位置等	負傷の種類	原因	発生市町
小学校	タワー	3	2段タワー上段	左撓骨遠位端骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	姫路市
	サボテン	2	上段	左尺骨骨幹部骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	伊丹市
	サボテン	2	土台	左膝内障	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	伊丹市
	サボテン	2	上段	右手関節舟状骨骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	宍粟市
	風車	2	上段	胸骨骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	伊丹市
中学校	ピラミッド	15	5段ピラミッド3段目	左膝打撲、左膝骨挫傷	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	加古川市
	タワー	10	3段タワー2段目	左鎖骨骨折	ルールや約束事が守れなかった	尼崎市
	タワー	10	3段タワー土台	左腕骨折	安全に配慮した段階的の指導ができなかった	丹波市
	電柱	2	上段	両手手根骨骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	西宮市
	電柱	2	上段	左撓骨遠位骨折、右撓骨骨端線損傷	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	西宮市
	電柱	2	上段	左撓骨骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	姫路市
	飛行機	3	上段	右踵骨折	ルールや約束事が守れなかった	川西市
	隊形移動	1		左足中指骨折	ルールや約束事が守れなかった	加古川市
	2段おきこ	15	土台	鼻骨骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	川西市
	風車	2	土台	肘頭骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった	多可町
	帆掛け船	3	土台	左手関節捻挫	ルールや約束事が守れなかった	たつの市

<小学校>



<中学校>

